

# みんなの個性が 輝くまちへ

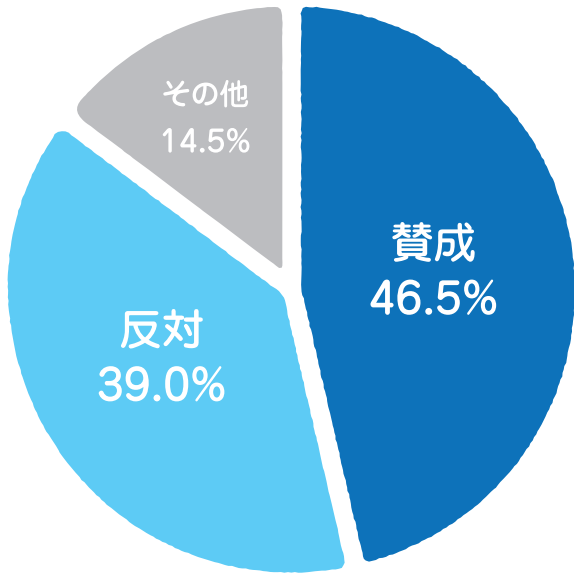
～進めよう 男女共同参画～



男性も女性も、性別にとらわれず、自分の意思でいろいろな活動に取り組んだり、共に責任を担ったりすることを**男女共同参画**といいます。男女共同参画を進めることは、みんなが生き生きと豊かに暮らし、より良いまちをつくることにつながります。男女共同参画が、私たちの生活とどのように関わっているのか、家庭や職場など、身近なところから考えてみましょう。



## 「男性は仕事、女性は家事や育児」賛成それとも反対?



「外で働いてお金を稼ぐのは男性」「家の中のことや子育てをするのは女性」という性別で役割を分ける考え方について、札幌市民に聞いたところ、「賛成」(9.1%)と「どちらかといえば賛成」(37.4%)が合わせて46.5%、「反対」(14.3%)と「どちらかといえば反対」(24.7%)が合わせて39.0%となり、約半数が賛成と答えています。

札幌市「男女共同参画に関する市民意識調査」(2011年)

### 「男性だから」「女性だから」性別だけで判断していませんか?

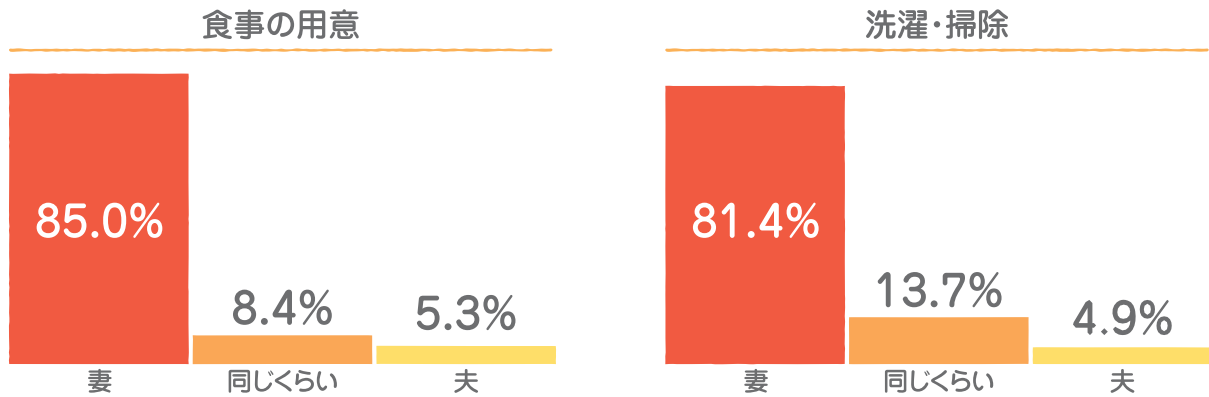
「リーダーは男性」「サポート役は女性」などと性別で役割を決めたり、相手のことをよく知らないのに、「男性だから機械に詳しいはず」「女性だから料理が得意なはず」などと思い込んでいませんか?

「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」と、他に理由もなく性別だけで判断されて、自分がやりたいことや得意なことができなかったり、反対に苦手なことを押し付けられたりしたら、皆さんはどう感じるでしょう。

男性か女性かという違いだけではなく、一人ひとりの気持ちや個性、能力に目を向けてみることも大切です。



# 夫婦の家事分担 主に担当しているのはどっち?



結婚している女性のうち、仕事を持っている人に聞きました。妻が働いている家庭でも、8割以上で女性が「食事の用意」「洗濯・掃除」を主に行っています。

札幌市「男女共同参画に関する市民意識調査」(2011年)

## 家事は誰のしごと? 快適な家庭生活は、みんなの力で

家庭は私たちの生活の基本です。その家庭を支え、家族が心地良く過ごすためには、食事の用意や洗濯、掃除など、さまざまな家事が欠かせません。皆さんの家では、誰が家事を担当しているでしょうか? もし、特に決めたわけでもないのに、いつ

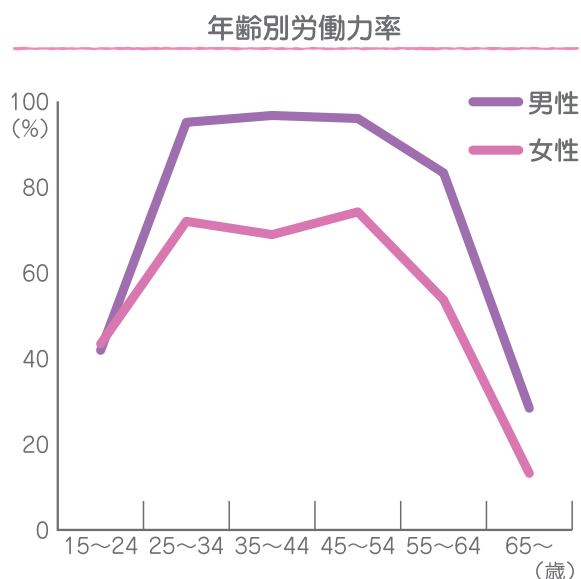
も女性が行っているようなら、「家の中のことは女性がするもの」「男性は家事が不得意」などと考え、つい任せきりになっているのかもしれませんが。

大変な家事も家族みんなで協力し合えば、楽しく行うことができます。





## 女性はM字 男性は台形 性別で違う働き方



15歳以上の人のうち、働いている人や仕事を探している人の割合を**労働力率**といいます。

年齢ごとの労働力率の変化をグラフに表すと、男性は、初めて就職するころから定年退職の時期まで、ほぼ一定の台形なのに対し、女性は**M字のカーブ**を描きます。女性は、結婚したり、子どもを産んだりする時に、仕事をやめることが多いのが原因と考えられます。

総務省「労働力調査」(2011年)

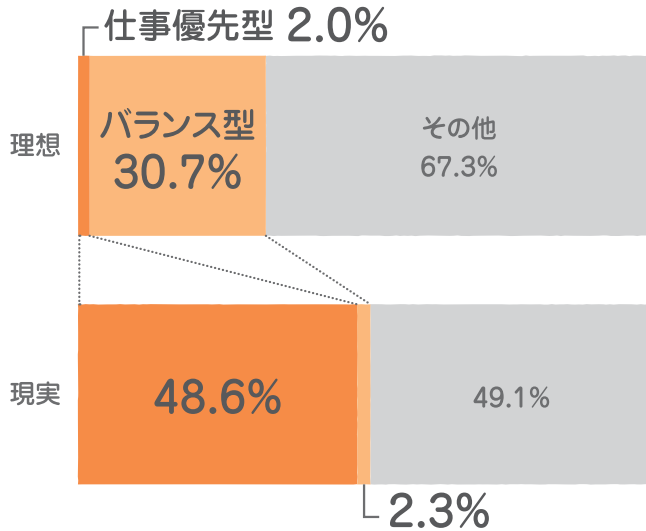
### 男性も女性も 生き生き働き社会も元気に!

女性は男性と比べて、結婚や出産、子育てによって働き方に影響を受けやすく、仕事を続けることが難しくなる場合や、再び働こうと思っても就職先がすぐに見付からないことがあります。

性別を問わず、誰もが働きやすく活気のある社会をつくるためには、育児休業制度や短時間勤務制度などを活用した安心して子育てができる職場づくり、再就職支援、仕事に役立つ知識や技術を学ぶ場の提供などが必要です。



# あなたの理想の生活バランスは？



皆さんは、仕事や家庭生活、地域・個人の生活のどれを優先したいと思いますか？

アンケートを取ると、一番多かったのはどれも大切にする**バランス型**が理想という意見。ところが、現実には、ほとんどの人が**仕事優先型**になってしまっています。

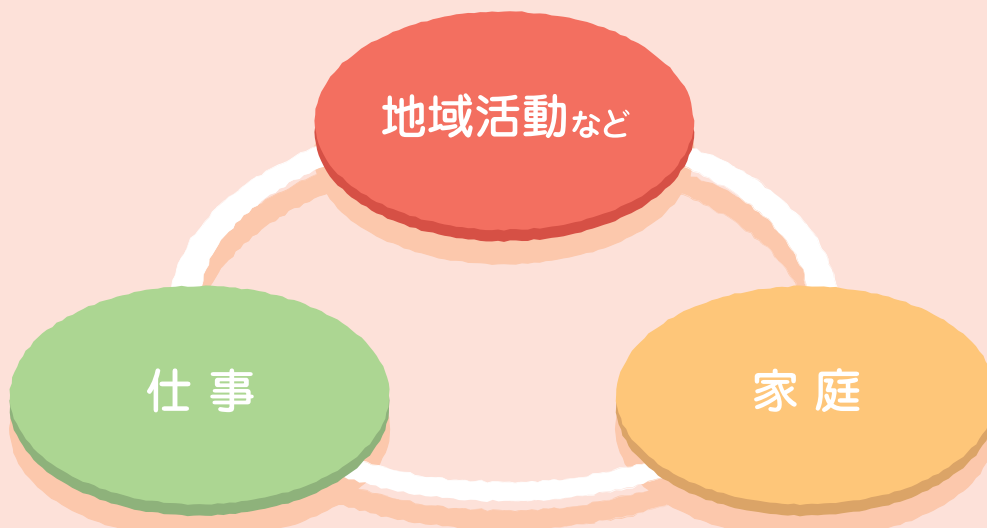
内閣府「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する意識調査」(2008年)

## 「ワーク・ライフ・バランス」を広めて、豊かに暮らそう！

私たちは、仕事を通して暮らしを支え、生きがいや喜びを見出すことができます。また、家庭生活や勉強、趣味、地域の人たちとの交流など、豊かで潤いのある暮らしを送るために大切なものはたくさんあります。

やりがいのある仕事と充実した家庭生活などを両立することを、**ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)**といいます。

あなたにとって、最適なバランスは何かを考えてみましょう。





## 対等な関係をつくり みんなが笑顔になるために

夫婦などの親密な間柄の中で、暴力が起こることがあります。

これは、**ドメスティック・バイオレンス(DV)**と呼ばれ、体格の違いや経済力など、相手よりも強い立場にあることを利用して、暴力で自分の思いどおりにしようとする行為です。暴力は、殴る、蹴るなどの身体的なものや、無視をしたり、相手を言葉で傷付けたりする精神的なものなどさまざまな形があります。

暴力は人の体や心を深く傷付けます。みんなが笑顔になるために、お互いを尊重し合い、暴力のない対等な関係を築いていきましょう。

### 束縛が愛情だと思っていないか？

相手のことが好きで交際しているはずなのに、相手のことを「怖いな」と思ったり、相手が怒るのは自分のせい…などと思ったりしていませんか？

DVは夫婦の間だけではなく、学生など若い人たちの交際関係でも起きることがあります。それを**デートDV**と呼んでいます。

#### デートDVチェックリスト

- 殴る・蹴る・たたく・髪の毛を引っ張るなど、身体に暴力を振るわれている。
- 「バカ」「アス」「デブ」など、自分をバカにしたようなことを言われる。
- ささいなことで、すぐ機嫌が悪くなり、無視される。
- 携帯電話のメールや通話履歴をチェックされる。
- 自分以外の異性と会うことを制限される。
- 貸したお金を返してくれない。

このような経験をして、悩んでいませんか？ もしかしたら、それはデートDVかもしれません。

札幌市には、DVやデートDVに関する電話相談窓口があります。  
一人で悩まず、相談しましょう。

**札幌市配偶者暴力相談センター ☎011-728-1234**

月～金 午前8時45分～午後8時 土日祝 午前11時～午後5時（年末年始を除く）

# 力を合わせて みんなで一緒に「男女共同参画」



札幌市には、男女共同参画に関する基本的な考えや目標などを定めた条例があり、市民や企業、市役所などが協力して男女共同参画に取り組んでいます。

皆さんも、家庭や職場、地域、学校などいろいろな場で、男女共同参画を進めていきましょう。自分にできることから、少しずつ積み重ねていくことが大切です。



## 男女共同参画を進めるために大切なこと ～札幌市男女共同参画推進条例～

### 基本的な考えや目標 (基本理念)

#### ●男女の人権の尊重

男性も女性も相手を大切に、性別にかかわらず能力が発揮できるようにしよう。

#### ●政策等の立案及び決定への共同参画

大事なことを決定する場に、対等な立場で男性も女性も一緒に参加できるようにしよう。

#### ●家庭生活での活動と他の活動の両立

家族が協力して、子育てや介護などを行い、家庭以外の活動も行えるようにしよう。

#### ●社会における制度及び慣行についての配慮

男性も女性も、社会の仕組みや習慣によって差別されないようにしよう。

#### ●性と生殖に関する健康と権利の尊重

お互いの性に関する理解を深め、妊娠・出産に関する女性の体や気持ちを大切に、健康を守ろう。

男女共同参画の取組を  
応援します!

## 札幌市男女共同参画センター

男女共同参画を進めるため、市民のさまざまな活動を支援するための場所です。

**開館時間** 午前8時45分～午後10時

**休館日** 年末年始・施設点検日

**所在地** 札幌エルプラザ内

**電話番号** 011-728-1222

**ファクス番号** 011-728-1229



札幌市男女共同参画センター

検索



男女共同参画について  
もっと知りたい!

## 情報センター

男女共同参画に関する資料を調べることができます。資料の貸出しも行っています。

**開館時間** 午前9時～午後8時  
(貸出しは午後7時45分まで)

**休館日** 年末年始、特別整理期間、公共施設休館日、  
図書整理日(原則毎月最終日曜日)

**所在地** 札幌エルプラザ1階

**電話番号** 011-728-1223

**ファクス番号** 011-728-1230



## 札幌エルプラザ

札幌市北区北8条西3丁目

### 交通機関

JR札幌駅北口より徒歩3分

地下鉄南北線さっぽろ駅より徒歩7分

地下鉄東豊線さっぽろ駅より徒歩10分